



萩市
HAGI

議会だより

2010.10.15 No. 18

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会
〒758-8555 萩市江向510 TEL 0838-25-3131



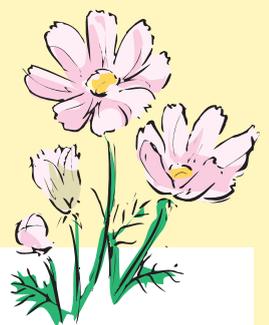
玉葱の苗床灌水（夫婦）

9月定例会

- 一般質問** 16人が質問しました 2~9
- 平成21年度一般会計決算・2日間に亘って審査 ... 10・11
- 常任委員会審査概要 12~13

P

11月13日・14日 萩ふるさとまつり



一般質問



諸岡 皓二
(無所属)

地域経済発展の為に、市行政が何をすべきか

萩市の地域再生に必要な「中小企業振興基本条例」制定

【問】萩市における年金受給額は200億円と聞いています。その大半は、本社が萩市以外の量販店・ドラッグストア・コンビニ等で使われています。地域経済再生の為に地産地消での循環型経済を推し進める必要があります。市の地域内再投資力を市民一丸となつて「中小企業振興基本条例」を制定する必要があります。



田町商店街

【答】地方分権一括法の制定により、中小企業施策等についても、その政策と実施については地方自治体が責任を持つこととなり、各自治体において、中小企業振興基本条例等の制定の動きがあります。しかし、地方分権が進まない状況下において、この条例は精神訓示規定に留まっていることから、本市においては、農林水産業・中小企業・商店街等の振興に対する個々の具体的な施策の積み上げにより地域経済の発展を図っていきます。

災害復旧工事について



中野 伸
(誠風会)

【問】本年も七月十一日未明から十五日にかけ断続的に発生した集中豪雨は、多くの災害をもたらしました。おつみ地域に以前から青いシートが覆つてある箇所があり、小規模治山事業(県)で、当人は、住居が破損する恐れもあると心配されて

います。萩市は、実情を把握し、県へ強く要請され、早急の着手を要望します。

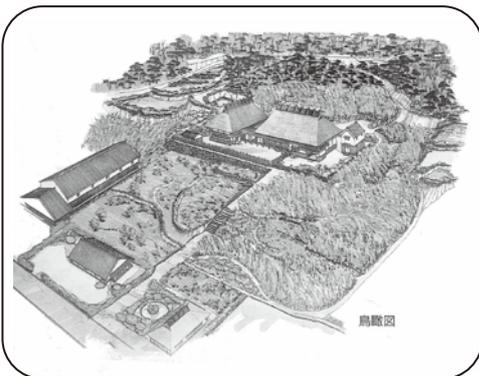
【答】今年度の七月豪雨の被害状況は、小規模治山工事の必要な箇所(住宅の裏山の崩壊等)が13箇所、住宅への流入土砂取り除きが3箇所ありました。また、二十一年度災害分の進捗状況は、小規模治山事業の対象箇所が32箇所あり、このうち昨年度3箇所の工事を実施しました。おつみ地域の小規模治山工事の要望箇所につきましては、状況を確認して担当課で対応していますが、今後も新たな情報等について教えていただきたいと思ひます。

奥阿武宰判勘場(代官所)の復元について

【問】奥阿武宰判勘場は江戸時代幕藩体制化における、萩藩の郷村支配行政組織の一つとして創設された施設であります。勘場は、萩・津和野の中間に位置し、県道萩津和野線沿いに見られ、復元は文化財と農業と観光の一体化を図ることになり

ます。また、活用の仕方によつては雇用の場ともなります。復元の方角に変わりないかお尋ねします。

【答】奥阿武宰判勘場の復元については、基本的な考え方は変わっていませんが、歴史的風致維持向上計画に基づく事業の実施や世界遺産登録の推進など、文化財を取り巻く状況が大きく変化してきていることから、事業の実施にあたっては優先順位を考慮せざるをえない状況にあります。財源問題など財政手法の検討や地域における観光ワンプロジェクトとの兼ね合いを勘案しながら、復元に向けて努力していきたくと思ひます。



奥阿武宰判勘場跡保存整備計画策定報告書より



関 伸久
(過疎問題を考える会)

駐車料金を柔軟に 設定し、財源確保 と観光の平準化を

【問】市税が年間1億8千万円減少しています。財源確保のため「市民は無料」を維持しつつ、中央公園と博物館前駐車場の料金を観光シーズンには値上げ、オフには無料にして観光客来訪の平準化を図るべきです。これは雇用の安定にもつながります。またコインパーキング方式での運用も検討すべきです。一回300円は安すぎます。

【答】中央公園と萩博物館の駐車場の有料化については、いろいろ大議論を行い、平成二十一年四月から有料化にしました。財源を確保する観点から、観光客に応分の負担は求めていくべきで、今後も財源確保の問題意識を持つことは大切です。しかし現段階では、有料化を始めたばかりで料金改定については、しばらくの間見合わせたいと思

います。コインパーキングについては様々な方式があるので、もう少し研究していきたいと思っています。



中央公園駐車場

収支改善のため ウェルネスパークに Jリーグチームを

【問】県が約79億円を投じた同施設収入は昨年度実績で309万円です。これに対し県の受託収入が無くなれば、市の維持管理費等の負担額は約4千万円となります。もっと自助努力で利用促進すべきです。Jリーグチームのキャンプ候補地・大学体育会活動への施設開放・野外音楽フェスティバルの開催で利用促進と地域経済の活性化を図るべきです。

【答】萩ウェルネスパークは、平成十年にスタジアム・十四年に武道館・十六年にスポーツ広場・十九年に大型遊具が完成しました。平成二十一年の利用者は13万5千人と毎年増えていきます。萩市の利用促進事業としては、実行委員会と協議して行う萩城下町マラソン等があります。ご指摘のJリーグ等のチーム誘致やスポーツ以外のイベント開催については、事業主体となる民間団体等があれば萩市も協力しますので、宜しくお願いいたします。



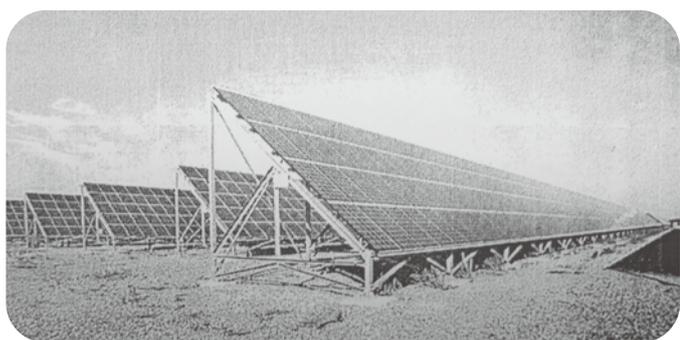
佐々木武夫
(公明党)

四種類のワクチン 接種の全額助成を

【問】子宮頸がん・ヒブ(HiB)インフルエンザ菌b型・小児用及び高齢者用肺炎球菌ワクチン接種を、市民の命を少なくするために全額助成の早期実現をお願いしたい。過去にも議員が質問されておられるが、その後どうなのか、結

論はでているのか、お尋ねします。

【答】四種類のワクチンは現在任意の接種で、これまで国へ法制化や健康被害の救済、接種費用の公費負担などの要望をしています。この度、厚生労働省は平成二十三年度の特別枠に子宮頸がんワクチンの概算要求を提示されました。まだ詳細がわかりませんが、市も検討していきます。財政事情もあることから全てのワクチンの助成はできませんが、ヒブワクチンについては国の動向を注視し検討していきたいと考えています。



太陽光パネル

日本一のエコタウン を目指した取り 組みを

【問】萩市は、今こそ太陽光エネルギーを活用し、スマートグリットを利用したエコタウン創りに、取り組むべきです。

【答】国の「緑の分権改革」推進事業や、公的施設なども利用し財政基盤を創り、雇用や産業を興してゆく時、行政・市民一体となつて、協力体制を作る時期ではないでしょうか。

【答】合併時には、福栄地域で民間の風力発電建設の計画がありました。平均風速、補助金等の課題により導入を断念されました。太陽エネルギーを活用した発電等の導入については、スマートグリット(次世代電力網)を開発中の中国電力の計画等を参考に多方面から調査し、どういったものが萩市にできるか、ふさわしいものかを歴史や観光と関連づけて更に検討していきます。





木村靖枝 (政和会)

学校施設及び公共施設の耐震化に向けての取り組み

併せて避難場所になっている各地域の公民館の耐震化調査・診断着工等の取り組みは。

【問】文部科学省が七月二十一日に公表した全国の公立学校施設の耐震改修状況では、山口県は53%で全国最下位となっています。因みに萩市は49%です。猛暑日が四十一日も続き、激しいゲリラ豪雨の降る異常気象の中、早期の耐震化100%が望まれます。

【答】学校施設の耐震化は、児童生徒の安全確保や緊急時の避難場所確保のために必要なものであり、建物の経過年数・地域の実情等も考慮し、耐震二次診断による耐震指標の結果に基づき計画的に進めています。また公民館の耐震化については、各地域の老朽化した施設全体をどうするかを見据えて、今後検討していきます。



道路整備にむけての総決起大会

萩市の主要道路の整備状況と早期整備に向けての手法

【問】萩市をとりまく主要道路の整備が遅れ、企業誘致・流通の円滑・観光振興等の障害になっています。国体を控え来年五月には小郡萩道路は絵堂インターチェンジまでが供用開始と伺っています。絵堂〜萩間のルートのご決定を調査区間から整備区間への格上げの予定と、萩市民にとって真に必要な「萩東道路」の早期整備の手法は。

【答】小郡萩道路の絵堂〜萩間約17kmについては、調査区間として絵堂〜明木間8.5kmの環境影響調査を県が実施し、概略ルートを決定しています。整備区間への格上げについては、平成二十三年度以降になる見通しです。萩東道路については、八月に整備促進大会を開催し、国土交通省等への要望活動を行い、必要性・早期整備について強く訴えたところです。今後行政・議会・民間団体が一体となった取り組みが必要になります。



長岡肇太郎 (新志クラブ)

離島での子育て環境整備を

【問】離島での子育ては、大変厳しい環境にあります。高校進学において通学手段や

通学時間に制限があり、自宅と通学高校付近の住居と、二戸の住宅を必要とします。借家や新築において重い負担が、かかっ

てきます。そのための税負担の軽減が図れないか、通学のための負担軽減等、離島振興法に組みこむ手立てはできませんか。 【答】離島における子育て環境は、多額の経費がかかり大変厳しい状況にあることは十分認識しています。現在、全国離島振興協議会を通じて、文部科学省に対して、離島の下宿高校生等に対する生活支援、遠距離通学費補助等に係る財政支援措置を実現するところについて要望しているところです。



なお、固定資産税の軽減などを離島振興法に取り組みむことについては、今後の検討課題とします。

離島の消防力強化整備状況を問う

【問】常備消防の及ばない離島では、災害発生に対応するための最低限の機材・器具・設備の配備が必要です。これまでの災害を教訓にして策定された「萩市離島の消防力整備計画」について、現在までの進捗状況をお尋ねします。

【答】離島の消防力については、平成二十年二月に策定した「萩市離島の消防力整備計画」に基づき、消防水利、消防車両、小型ポンプなどを計画通り整備しているところです。今後とも当該計画に基づき整備していく予定であり、これにより離島の消防力は平成二十四年度末には概ね満たされると考えているところです。なお、必要であれば次の整備計画も検討していきます。



齊藤 眞治
(民主党)

道路の植樹帯及び 民地から越境する 樹木等の管理は

【問】街の緑化は、生活環境に必要なことです。しかし、道路の植樹帯や民地の樹木・花木が越境し、歩行者や自転車・単車の通行の妨げとなっています。安全な通行の確保について、二点お尋ねします。

(一) 国道・県道・市道の管理者間の連携は。

(二) 民地から越境している樹木・花木への伐採等の指導は。

【答】市内の各道路管理者（国・県・市）においては、他の管理者が管理する道路の問い合わせ等についても一旦苦情・要望等の内容を受け付け、所管する部署へ連絡するようにしています。引き続き連携をとって対応していきます。個人所有の樹木等が市道へ越境している場合は、所有者へ剪定の依頼を行っています。

ます。地区によっては、地元が協力しているところもあります。今後も適正な維持管理をしていただけるよう、市報等で周知を図ります。



白水小学校前の河川

山田（白水）地区 の雨水等による洪 水・浸水対策は

【問】河川洪水ハザードマップは「警戒」と「日常の心得」の周知を図る上で必要なものです。そこで再度、白水地区の洪水・浸水対策をお尋ねします。

(一) 危険箇所の防衛対策として、雨水路の整備、土砂に対する堰堤の整備、防護壁の整備は、(二) 指定避難場所まで、どのように行くのか。また、避難所の安全性のチェックは。

【答】危険箇所対策としては、雨水路の整備が必要な箇所について関係者と協議します。土砂対策の砂防堰堤は上流の楞厳寺川に計画中です。

また、防護壁の整備は必要箇所を山口県に要望しています。避難所までは安全な経路の使用や消防団等による誘導の下で避難をお願いします。なお、状況により自宅や近所の二階等が水が引くのを待つことも大事です。避難所は開設前に職員が安全確認をしたり、状況により、適宜見直しを行っています。



岡 通夫
(政和会)

激しく変化する 農業政策への 対応は

【問】近年の農業政策は持続的かつ、安定的経営体に向けた改革路線から、担い手の確保対策など不明確な農政の方向に転換されようとしています。大きくゆらぐ農政の中、経営の持続安

定に向け検討中の多くの農業組織などがあります。これらの改革の推進や指導並びに農業施策についてどのようにお考えかお尋ねします。

【答】平成二十二年度から戸別所得補償制度が導入されたことにより、すべての販売農家を対象として所得補填を行う措置がとられ、これまで推進してきた地域農業の担い手の育成・確保対策が不明確なものとなりました。しかし、萩市では政策が転換しても、法人や集落営農に不利益が生じないように従来までの農業構造改革に資する施策や担い手・後継者育成への独自の施策を推進しています。

国には今後とも継続性のある施策を要望していきます。



大豆の栽培管理作業

高齢者の経験と知恵を生かした地域づくりについて

【問】最近高齢者の間で地域ごとに多くの人の交流の輪を広げ、「経験で得た知恵など生かし地域づくりに奉仕しよう」としています。「サロンのな場所があったら」と話が盛り上がりつつあります。また地域づくりに参加することが自分達の生甲斐につながるという話も聞かれます。このようなことについて市長はどうお考えですか。

【答】仲間づくり、学校や地域との交流の場として「ふれあい・いきいきサロン」を市内88箇所で開催し、高齢者のいきがい対策等へも取り組んでいます。

高齢化により、若い人の役割を誰かが担わなければなりません。産業面では百円市場で、地域貢献ではNPOで活躍されている事例もあります。高齢社会の問題については、福祉と医療・交通問題・産業振興等の視点で、総合的に考えるプロジェクトをつくり横断的に検討していきます。





大村 赴夫 (無所属)

地下道のや地下道をなくし、交差点を安心安全な施設に

【問】国道262号警察署前交差点改良工事が進んでいます。
この交差点に併設する地下道がバリアフリーになってないのは驚きです。
国道191号萩東中学校交差点・地下道もバリアフリーになっていません。

【答】現在、県が行っている警察署前の交差点改良工事は、車線の増設等を目的としたもので、地下道のバリアフリー化は計画されていません。

地下道のスロープ化は、勾配を緩やかにするため、かなりの用地が必要となり、他の道路や隣接する民家等の出入り口を塞ぐなどの問題が起こることから実現は困難な状況です。高齢化社会が進行する中、交差点のバ

リアフリー化は今後の課題として、国・県・公安委員会等の関係部署と協議してまいります。



交差点改良工事現場

【答】欧州の農業に活力があるのは、国民の理解を得て、国を挙げて支援しているからです。これを参考に、戸別所得補償制度が採用されました。めまぐるしく変わる農業政策ですが、萩市としては、農業後継者対策を基本として農事組合法人なども含めた多様な担い手対策を推進し、若い人たちが魅力を感じる農業を目指します。近い将来押し寄せてくる食料危機の政府対策に地域はどう対応していくのか、深刻な課題として対策を講じる必要があります。

若者が夢を紡げる農業を

【問】農業をとりまく環境は厳しい。WTO・FTA・EPA等、グローバル化が顕著です。減反政策を基調とする農政は農村を疲弊させ、中山間地を荒廃させてきました。

戸別所得補償モデル事業などパッチワークのような施策に農業者は翻弄されています。若者が農業で夢を紡げる時代は、どうしたらやってきますか。



広兼 義烈 (誠風会)

どうなる「やまびこ」

【問】二十三年度から民営化という方針が示されましたが、なぜ民営化するのか、しなければならぬ理由は何ですか。民営化は施設廃止につながるのではとの地域住民の不安がありますか。



「やまびこ」でのデイサービス

民営化するとサービスが向上することですが、どうしてですか。臨時職員をどう処遇されるのですか。

【答】民営化は「やまびこ」を次の世代に継承するために行うもので、施設がなくなることはありません。合併協議、新市建設計画等においても民営化の方針は示されています。民営化することにより、将来に渡って福祉専門職を確保し、介護保険事業等を展開していくことが地元の方々に必要と判断したところです。臨時職員の方への対応については、継続雇用・継続就労できるように努め、介護職を希望される方には、資格取得のための支援をします。

農業振興に一層のテコ入れを

【問】農業振興に積極的に取り組むとの施政方針が示されています。農業産出額は県下では上位にありますが、今後も堅持する方針があるのですか。
中山間地域が多く農林業の振興は集落の機能維持のためにも欠かせません。どの分野に振興の主眼をおいているのですか。農業所得の向上を図るための具体的な施策をお示し下さい。

【答】萩市の農業生産額は県下4位で、一戸当たりの経営規模が大きいという特色があります。農業振興は生産技術、流通開発など総合的なバランスが重要であり、ふるさと萩帰郷応援事業等を活用して新規就農者を確保し、中山間地への若者定住・法人化の推進を図りさらなる農業振興に努めます。また土地の有効利用を進め、農地を最大限に活用することにより集約型農業へ誘導したり、道の駅等を活用した販路拡大により農業所得の向上を図ります。





平田 啓一
(松風会)

若い農業後継者の 確保対策について

【問】萩市では昨年より農林水産業の後継者確保対策として「ふるさと秋回帰応援事業」が実施されています。この事業を知り就農を志す若者がいましたら、交付要綱の「新たに転入」の要件に該当しないため本事業が利用できませんでした。要件を緩和した就農のきっかけ作りとなるような新たな事業を創設できないかお尋ねします。

【答】農業後継者対策として、全国でも初となる「ふるさと秋回帰応援事業」により、現在7名が研修しています。要件緩和については、他産業とのバランスもあることから即座の対応は難しいと考えています。当面の間、現行制度で運用し、効果と運用について検討したいと考えています。この事業のほかにも、市内出

身者を含めて新規就農を目的とした就農円滑化対策事業を活用することができません。



小学校での英語事業

新学習指導要領の 完全実施に向けて

【問】小学校で来年四月から、中学校で平成二十三年四月から完全実施されます。すでに理数教育や、小学校の外国語活動が先行実施されています。学力の低下が言われている今日、新学習指導要領の目指すものは何か。また中学校では、全生徒が武道とダンスを履修することなどについています。指導者の育成などの準備状況をお尋ねします。

【答】新学習指導要領では、「生きる力」をより一層育むことを目指しています。萩市では、算数・数学、理科の先行実施はもちろん、新たに始まる「小学校の外国語活動」や「武道の必修化」などへのスムーズな移行にむけて、教職員の研修や質の高い学習環境の整備に計画的に取り組んでいるところです。今後も新学習指導要領の完全実施にむけて、確かな学力の定着を基盤とした、知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒の育成を目指していきます。



宮内 欣二
(日本共産党)

高すぎる国保料の 負担軽減をどう図るか

【問】国保料が一人あたり1万円引き上げられ、市民から悲鳴が上がっています。所得の10%から16%を超す負担は重すぎます。負担軽減をどう図りますか。国庫負担を増やすべきでは。また、国保基金が6億3千万円あり、1億円充てれば一世

帯1万円下げられます。決算と予算を比較すると財源はあると思えますがどうですか。

【答】医療費が年々増え続ける中、萩市では基金を活用して国民健康保険料の軽減を図ってきましたが、今年度は基金を活用してもなお不足を生じることから、やむを得ず保険料を引き上げました。一人当たりの医療費が高いにもかかわらず保険料は県内の市の中では、最低レベルとなっています。今後も医療費の動向等をしっかり見極め、長期的に安定した事業運営に努めるとともに国庫負担の拡大を要望していきます。



国民健康保険窓口

「やまびこ」民営化 による地域への影響 をどう解決するか

【問】「やまびこ」はこれからもずっと継続しますか。地域から働く場がなくなることについてどう対応しますか。納入業者が廃業し地元商店がなくなることにどう対応しますか。引き換えに弥富診療所の入院施設を再開すべきではありませんか。須佐地区の医療事情も見越し、入院施設の再開と体制充実が得策ではありませんか。

【答】「やまびこ」は必要であると認識しています。しかし、今のままでは職員の給与の維持など継続が困難です。計画等では、福祉施設を指定管理者に委ねることとしています。働く場については、配食員の方などが介護職を希望される場合には支援を考えています。弥富診療センターの入院施設の再開は医師一人ではできません。また医師の確保が大変難しい時であり、須佐地域の医療問題については、今後中・長期的な観点から検討していきます。



高橋 晶雄
(過疎問題を考える会)

低炭素(エコ)社会への市の取り組みについて

機能を持つ企業などの協力も得ることができると思います。

【問】低炭素社会を

目指す取り組みを萩市で行い、雇用の機会を作ることににより市の活性化を図るため、市のサポートはできませんか。

【答】知名度の高い萩市で県内で他に先がけて低炭素社会への取り組みを行うことは、アナウンス効果が高く、大手商社や通信

【答】低炭素社会への市の取り組みとしては、庁舎の省エネ照明や環境対応車の導入のほか、サンライフ萩のコンクリートブロックを緑で覆うなど実施してきました。エコタウン構想の実施については、組織的・財政的に検討する必要があります。

このため、総合政策部にプロジェクトチームを立ち上げて、萩市では低炭素社会への先進的な取り組みとして何ができるかを行政・民間の役割を含めて、

早急に検討をはじめていきます。



ハイブリッドカー

防災の備えについて

【問】河川の管理が十分でなく

雑木・雑草・竹などが河川敷に生い繁り、大雨などでは橋桁などに木や枝・草などが引っかかる、橋の倒壊や河川の氾濫などが懸念されます。管理者の県に

対し要望されていますか。また、周辺集落の狭い市道などは待避スペースの整備を進め、車のスムーズな動きを確保されるお考えはありませんか。

【答】ご指摘の河川については、県管理の河川であり、以前から草刈・浚渫について要望を行っています。近年では、平成二十年度に一部草刈が実施されていますが、今後も災害を未然に防ぐため引き続き県に対して、適正に維持管理を行うよう要望してまいります。待避スペースの整備については、他地区から維持工事の要望もあることから、既存の待避スペースの整備を含め検討を行い、優先順位をつけて実施してまいります。



西中 忍
(過疎問題を考える会)

阿武川の水害防止対策について

【問】中津江周辺の阿武川には数多くの中洲が点在し、そこは野鳥の棲み家となり、のどかな景色を作りだしています。しかし住民からは、中洲が原因で阿武川が氾濫するのではという心配の声を聞きます。そこで管理

者である県に対し、環境に配慮し、安全性を確保するための浚渫等を実施するよう強く要望をしていくことが必要と思われるますがいかがですか。

【答】中津江水門下流から中津江橋付近にかけては、大小の中洲が点在し、葦や立木が多く見られ、野鳥等も多く棲みついていきます。河川管理者の県に対し、洪水時の安全確保のため、引き続き河川環境に配慮した、河川内の立木伐採、浚渫等を要望してまいります。また阿武川ダムの洪水調整の機能が本来の洪水対策ではなく、水量確保に力点が置かれていと感じています。機会ある度に、県にダムの洪水調整機能を要請してまいります。



阿武川に点在する中洲

平成二十三年度予算について

【問】市長は、萩市の抱える最大の課題は少子化・人口減少問題といわれています。

この課題に真剣に取り組むという姿勢を示すため、平成二十三年度予算で子育て支援や若者定住対策等に対し、思い切った予算編成を行う必要があると思

【答】全国の人口動態は、地方から都市へ流れています。これに加え本市の場合は、一次産業が低迷していることから若い人の流出が続いています。一人でも多くの若い人に残ってもらえるよう、ふるさと萩帰郷応援事業、担い手住宅の整備など厳しい予算の中できな思切った施策を展開しています。今後も自ら起業する意欲のある方を支援するなど、地域にある資源を活用して雇用の場の創出・確保に努めていきます。





横山 秀二
(新志クラブ)

国道262号線と 萩秋芳線の交差点 の標識について

【問】国道262号線と萩秋芳線との交差点に設置されている交通誘導標識看板から、今まで標示されていた行先が削除されました。今までどおりに、国道262号線への誘導として、明木方向からは「萩」を、萩方向からは「山口」と言う行先標示が復元されませんか。

【答】県道萩秋芳線が有料時の道路案内標識の標示は、有料・無料をドライバーに知らせるため、明木方向からは国道・県道両路線へ「萩」、萩方向からは国道・県道両路線へ「山口」を標示し、県道ルートに「有料道路」を併記していました。無料化に伴い道路法及び関係省令に基づき、最短で到着するルートを標示することとなったため、

県道萩秋芳線方向にそれぞれ「萩」、「山口」を、国道262号方向には「川上」を標示することとなりました。



交通誘導標識

「森林・林業再生 プラン」について

【問】この度、新たに「林業を再生する事で、地方における雇用の拡大につなげていきたい」との考えのもと「森林・林業再生プラン」が国の新成長戦略として掲げられました。骨子は「林業の再生」を雇用拡大と共に十年後の木材自給率を50%に上げるというものです。今後の市の取り組みをお尋ねします。

【答】萩地域は、林業が賑わっていた土地でもあり、新政権が力を入れて「森林・林業再生プラン」には強い関心を持っています。国がこうした具体的な施策を提示されたことは近年にないことです。萩市においても、国の制度を十分確認しながら遅れることなく対応し、活用できる制度等は森林組合と歩調を合わせ、森林所有者との合意形成を図りながら早急に対応策を考えていきます。これを機会に萩地域の林業の再生を進めて行く考えです。



西元 勇
(誠風会)

健康と福祉の里づくりで大井地区の 活性化を

【問】大井地区の病院等を核とした健康と福祉の里づくりは、新しい社会・経済システムの構築と共に高齢社会に対応する好事例になると思われれます。健康と福祉の里づくりを積極

的に促進することにより、人口減・後継者不足など負の連鎖を断つチャンスととらえて、若者向け住宅の建設等、若者定住策と組み合わせ地域づくりに取り組まれるお考えはないか、市長の所見をお尋ねします。

【答】大井地区の医療・福祉・保育園等に加えて居住を想定した構想については、制度の取扱いが変わることもあり、早期にその構想・内容を聞かせていただきたい。また若者の住宅が足りないのかどうか、具体的な構想がわからないので、その対応については今後の課題とします。萩市としてできることと、できないことがあります。地区の意見としてまとまったものであれば、できるだけ協力していきたいと考えています。



大井健康福祉の里建設予定地

議会を傍聴しましょう

～ 簡単な手続きで傍聴できます ～

常任委員会（総務委員会・教育民生委員会・経済建設委員会・特別委員会）も手続きすれば傍聴できます。

財政健全化へ取り組みを評価

一般会計・特別会計に公営企業会計を加えた全会計で
国の財政健全化基準をクリア

平成21年度
会計決算認定

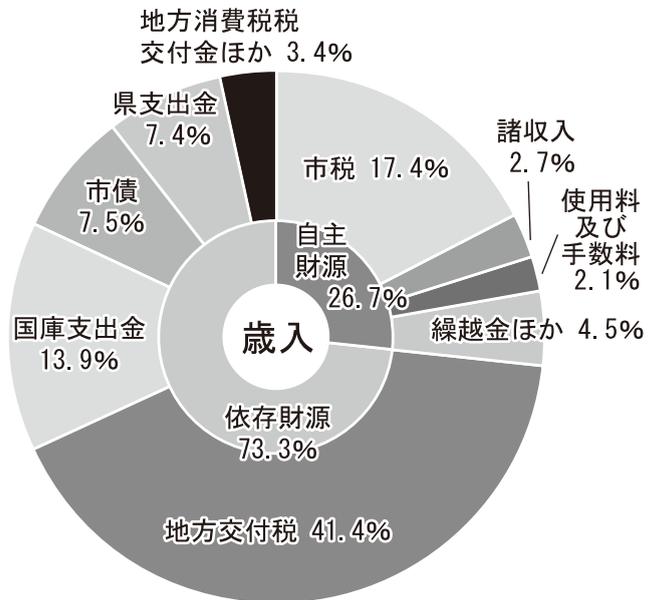
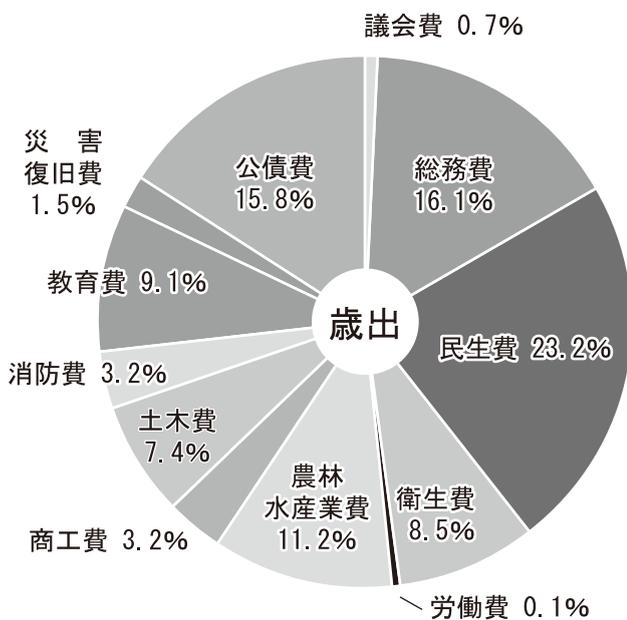
一般会計決算額

歳入 334億8565万円 (前年度299億4089万円)
 歳出 324億6717万円 (前年度293億4448万円)
 繰越金 40億7735万円
 実質収支額 3億3220万円の黒字

健全化判断比率 (単位: %)

実質赤字比率	—	—であること
連結実質赤字比率	—	—であること
実質公債費比率	14.0	25以下であること
将来負担比率	79.5	350以下であること

21年度一般会計決算



決算額大幅に増加

前年度に比較し大幅に増加した要因は、国の経済対策で経済危機対策臨時交付金事業、公共投資臨時交付金事業、きめ細かな臨時交付金事業に国庫支出金として約37億円が交付されたこと、地方交付税に地域雇用創出推進費4億5337万が加算されたことによります。

萩市の台所事情

自主財源 (市税、使用料等) 26・7%

(前年度より1・3ポイント下回る)

依存財源 73・3%

自前の金が少ないので独自の事務、事業が行い
 難い。

その他主な指摘事項

不用額がかなりの額あるが職員の努力によることは認めるものの、過大見積りと思われる事業や関係課の調整不足等も見受けられた。

公共工事全般において、総合事務所管内の業者への入札参加機会に配慮、同時に地場企業の活用を図ること。

水道、下水道の料金改定については、施設維持管理費等に係る経費を考慮し中長期的な観点から検討すること。



一般会計決算他19特別会計決算 9月定例会で認定

実施された主な事業

児童館整備事業 4980万円
 新図書館整備事業 2億3341万円
 見島診療所整備事業 1億6265万円
 新清掃工場建設事業 3872万円
 担い手定住促進整備事業 1億4537万円
 農村情報基盤整備事業 3億6404万円
 大島漁港特定漁港漁場整備事業 5億9725万円
 市営住宅整備事業 1億4636万円
 はしご車付消防自動車購入事業 1億7982万円
 大島小中学校改築事業 1億7511万円

継続事業 子育て環境づくりの拠点
 継続事業 生涯学習の中核施設及び地域の情報拠点として整備
 継続事業 施設の老朽化に伴う移転改築
 継続事業 27年度の稼働に向け事業に着手
 第一次産業の担い手確保のため整備
 小川地区 むつみ地区 佐々並地区に各3戸
 旧4村(むつみ 旭 川上 福栄)
 ケーブルテレビの光ケーブルの敷設と高帯域化
 継続事業
 継続事業 無田ヶ原口団地 20戸
 大島団地 8戸
 更新 35m級はしご付消防自動車
 継続事業 大島地域待望の改築

※継続事業については21年度に支出した金額で総事業費ではありません。



大島小中学校改築現場



市内の一番高い建物に対応できるはしご車

収納率の低迷 これでもいいのか

(単位 千円)

区分	調定額	収入済額	不能欠損額	収入未済額
市税	6,605,734	5,817,181	59,783	728,770
保育料等	312,722	256,786	492	55,444
住宅使用料等	215,921	170,085	0	45,836

(単位 千円)

区分	調定額	収入済額	不能欠損額	収入未済額
国民健康保険料	1,692,187	1,233,036	74,235	385,200

審査に伴う要望、意見

不能欠損の処理と滞納対策について

保険料負担の不公平感の資するもので対策に万全を期すこと。国民健康保険制度は納付義務の履行があつてこそ医療給付の権利が発生することを被保険者に一層の理解を求めること。

市税の収納率は県下13市のうち下位に低迷。より効果的な収納策が必要との審査意見。

員会室です！

審査の概要をお知らせします

一般会計に5億1,752万円を追加補正 総務

総務委員会では、補正予算(第2号)を含め計5議案の審査を行い、すべて可決するものと決しました。

豪雨災害の復旧に 約3億9,080万円を計上

今回の補正予算は、平成二十二年六月下旬及び七月中旬に発生した梅雨前線の影響に伴う豪雨による農林・土木・文京施設被害の災害復旧を行うための経費、児童扶養手当法や農地法等の一部改正に伴い必要となる経費、小中学校施設の耐震化に取り組みべき予算となっております。

○地域力創造アドバイザ ー事業を推進

問 具体的にどんな事業ですか。

答 各地域にワークショップ等を開催し、地域資源を活用した観光ワンプロジェクト等の取り組みを推進するもので、地域において収益性のある産業を創出することが目的です。

○父子家庭にも児童手当 の支給を開始

問 いつから開始

答 児童扶養手当法の一部改正により、平成二十二年八月一日より、これまでの

母子家庭に加え、父子家庭にも支給されるようになりました。

○萩清掃工場で廃プラスチック類の混合燃 焼試験を行います

問 どうして廃プラスチックを混合燃焼するの？

答 萩清掃工場へ搬入される燃やせるごみが減少しており、清掃工場の稼働率を高めることが狙いで、450万円を投じて混合燃焼試験を行います。

問 今後は燃やせるゴミと廃プラスチックの分別をしないでいいの？

答 今回は混合燃焼試験を行うためのものであり、ゴミの分別はこれまで通りです。

○UJiターンのによる 定住を促進すべく、 教員住宅を改修

問 どの住宅を改修するの？またその予算額は？

答 むつみ地域の吉部住宅と福栄地域の紫福住宅、福川住宅を約514万円をかけて改修します。今後は山口県が所有する各地域の住宅資産の活用も検討していきます。

○小中学校施設の耐震 化事業を推進

問 耐震診断はどこまで進んでいるの？

答 今回の事業では約3、653万円と大きな予算を計上し、耐震診断を進めていきます。これにより見島地区以外の小中学校の校舎屋内体育館についてはすべて二次診断が終了します。

○須佐・田万川学校の給食共 同調理場を統合整備

問 どうして統合整備するの？それぞれの存続は困難なの？

答 二つの給食共同調理場の老朽化と少子化が著しく進んでいるのが統合の理由です。約4、234万円の予算を計上し、新たに須佐田万川学校給食調理場として平成二十三年中に整備を終了する予定です。

○農業施設災害復旧事 業に約1億500万 円を計上

問 その概要は？

答 六月下旬および七月中旬に発生した梅雨前線の影響に伴う豪雨による農地・農業施設災害の復旧を行い

ます。補助事業として農地六件、農業用施設十四件、単独事業として農地十六件、農業用施設二十四件の災害復旧を行います。

○林業施設災害復旧事 業として約2800 万円を計上

問 その概要は？

答 平成二十一年度六月下旬から七月月上旬に発生した豪雨による林道瀬尻金山線の災害復旧工法を再検討する必要があるので、測量設計を300万円かけて行うものと今年七月中旬に発生した豪雨による林業施設災害の復旧工事が約2、500万円です。

○土木施設災害復旧工 事に約2億5、400 万円を計上

問 その概要は？

答 その事業内容は、応急復旧工事として道路9件、河川12件、災害復旧工事として補助事業に道路21件、河川24件、単独事業に道路35件、河川36件の復旧工事を行うものです。

ここは常任委

教育
民生

国民健康保険料の徴収に努力を

教育民生委員会には、各種決算認定を含め12議案が付託され、審査の結果すべて可決、認定すべきものと決しました。主な質疑の内容は次の通りです。

○国民健康保険事業特別会計決算認定について

問 健康保険料の徴収状況は、また滞納分の対応は。

答 現年分の収納率は、92・8パーセントで県下第三位です。また収納課の人員を増員し、収納率の向上に努めるとともに、滞納分についても時効にかかり不能欠損とならないように、根

気強く訪問活動等行い徴収に努めています。

なお、委員から収納課だけでなく関係する課や各地域事務所と協力して未済額を減らしていくようにという意見がありました。

○萩市民病院事業会計決算認定について

入院患者数は、前年度に比べ1926人減少し、通院患者数は逆に236人の増加、収支については、純損失が5142万2522円でした。

○工事請負契約の締結について

平成27年度供用開始予定の新掃掃工場へのアクセス道路、また地域唯一の生活道路及び緊急避難道路としての利便性向上等のため、市道小原畦田線の改良工事(第一期工区)です。

年次的に立替を行っている市営住宅無田ヶ原口団地におけるC棟新築工事であり、

萩浄化センターにおいて耐用年数を経過した汚泥脱水機処理設備の更新のための工事です。

また、事業収益に一般会計より、4億681万7351円を繰り入れたこと、これまでの未処理欠損金が、10億8986万4705円との説明を受けました。

審査の中で経費節減のためにジェネリック医薬品への移行、救急医療体制の充実及び機能補完について、また医師確保の現状についてなどの質疑が行われました。

その他主な審査では、萩市介護保険事業特別会計決算認定審査において、

審査では、設備の耐用年数について、設備更新におけるこれまでの事業内容について、入札参加業者数と参加辞退理由について質疑が交わされました。

今回のようなプラント工事は、市内には対応できる業者ないこと、また工事内容を精査し分割して発注できる工事は、可能な限り市内業者で行っており今後も十分配慮するとの説明がありました。

公共工事全般において、特に総合事務所管内の業者への入札参加機会に配慮さ

決算額が歳入・歳出ともに54億4060万2473円との説明を受けるとともに、介護予防と居宅介護者の支援について、介護サービスの未利用者への制度等の普及・啓発について、成年後見人制度の利用状況や、また高齢者虐待やひきこもり高齢者等の状況及び取り組みについてなどの質疑が交わされました。

経済
建設

水洗化率の向上を

○平成22年度萩市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

今回の補正予算は、雨水対策に係る計画上の整備を実施した場合の浸水被害の状況について、シュミレーションを行い効果的な施設整備について検討するため調査事業を実施するものです。

○平成21年度萩市公共下水道事業特別会計決算認定について

審査では、①下水道整備の全体計画について ②未水洗化世帯の理由について ③宅内の排水設備の現状について、質疑が交わされました。特に水洗化率の低い地区が見受けられるので、水洗化率向上に継続して努められたいとの意見がありました。

○工事請負契約の締結について

平成27年度供用開始予定の新掃掃工場へのアクセス道路、また地域唯一の生活道路及び緊急避難道路としての利便性向上等のため、市道小原畦田線の改良工事(第一期工区)です。

年次的に立替を行っている市営住宅無田ヶ原口団地におけるC棟新築工事であり、

萩浄化センターにおいて耐用年数を経過した汚泥脱水機処理設備の更新のための工事です。



完成した木間簡易水道施設

れると同時に、地場企業の活用を図りたいとの意見、また今後予定される水道及び下水道料金改定については、施設維持管理費等に係る経費を十分考慮され、中長期的な観点からも検討に努められたいとの発言がありましたことを申し添えておきます。

主要道路整備促進調査特別委員会の活動状況

山口県知事に要望書を提出

山陰自動車道（益田～萩間）と地域高規格道路小郡萩道路の早期整備について山口県知事宛に要望書を提出することになりました。

今回の主要道路整備促進調査特別委員会では次の事項が協議・確認されました。

- ① 山陰自動車（益田～萩間）は山陰自動車道のなかで唯一の予定路線であり、萩・三隅道路からの継続事業としても早期に基本計画区間への格上げが望まれる。
- ② これまでは与党である民主党政権に対する陳情が中心であったが、活動の更なる強化を図る為にも山口県のバックアップが欠かせないことから、山口県知事宛に要望書を提出する。
- ③ 利用低迷の続く萩・石見空港の利用促進には山陰自動車道との連結・整備は欠かせないととの共通認識より、今後の陳情・要望にあたっては萩・石見空港存続の為にも必要な事業であることを盛り込む。
- ④ 山陰自動車道と小郡萩道路の早期整備にあたっては萩地区選出の県議会議員にも早期整備への助長としての支援を強く要望する。

産廃処分場建設問題調査特別委員会の活動状況

萩・福栄 水と命を守る会と共に建設反対運動を推進！

－ 9月21日懇話会を開催 －

まず、産廃処分場建設問題調査特別委員会柴田保央委員長より萩市議会としては福栄地区に建設計画がある産廃処分場建設には萩市議会として絶対に反対であり、「守る会」の皆様と一緒に建設反対運動を続けていくと挨拶がありました。

また、萩・福栄 水と命を守る会の塩谷正人会長からは、産廃処分場建設反対運動は行政・議会市民の皆様が協力し、継続的に続ける事が大切だということ、また今後の活動については、子どもたちを含め、若い世代の理解をに広げて行きたいと挨拶がありました。



意見交換の中では…………

- 反対運動をこれから先も、継続して続ける事が大切。
- 反対運動の要は、市民の意識の高揚、環境問題に対する理解の深まりが必要。
- 個人会員の増加・拡大が大切だ。
などの意見がありました。

特別委員会としては、今後のあり方について「市民団体の活動とネットワークの拡大」がなければ萩市の抱える産廃処分場建設問題の解決はあり得ないとの認識の下、独自の調査・研究活動と併せ、市民団体との連携強化・問題点の啓発活動を進めるとともに、市民活動への支援を推進してまいります。

平成22年度9月補正予算の概要

■ 一般会計

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
31,319,956	517,522	31,837,478

歳出予算の主なもの

(単位：千円)

費目	事業名	補正額
【児童措置費】	○児童扶養手当支給事業 児童扶養手当法の一部改正により、父子家庭にも支給が拡大されたことから事業費の追加を行う。	4,565
【障害者福祉推進費】	○避難施設・トイレ等情報調査事業 避難場所の施設や市内のトイレ等を障害者や高齢者が安心して利用できるかを障害者雇用創出の観点から障害者就労支援事業所に委託し、確認調査及び整理を行う。	1,302
【図書館費】	○明治維新史関連書籍データベース化・デジタル化事業 図書館が所蔵している明治維新史関連書籍を中心にデータベース化とデジタル化を行い、市民の活用と情報発信を行う。	8,950
【塵芥処理費】	○萩清掃工場管理運営事業 燃やせるゴミの減少に伴い、廃プラスチック類の混合焼却処理の再開に向けて、施設や環境への検証をするため、精密検査等を行う。	4,500
【住宅管理費】	○UJIターン促進住宅改修事業 UJIターンによる定住を促進するため、必要な住宅改修を行う。	5,146
【小・中学校建設費】	○小中学校施設耐震化事業 1次診断によりIS値が0.3以上0.9未満の建物について2次診断を行い耐震化の促進を図る。	36,528
	○須佐田万川学校給食共同調理場整備事業 老朽化が著しい須佐学校調理場と田万川学校調理場を、新たに須佐田万川学校調理場として統合整備を行う。	42,337
【文化財保護費】	○重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 堀内地区の山田家石垣について、老朽化による崩落が見られることから保存及び通行者の安全確保のため所有者の行う修理に対し助成を行う。	7,417
【農業施設災害復旧費】	○農業施設災害復旧事業 6月下旬から7月中旬に発生した豪雨による農地・農業用施設の災害復旧を行う。	105,753
【林業施設災害復旧費】	○林業施設災害復旧事業（平成21年災害） 平成21年6月中旬から7月中旬に発生した豪雨による、林道瀬尻金山線の災害復旧工法を再検討するため測量設計を行う。	3,000
	○林業施設災害復旧事業（平成22年災害） 7月中旬に発生した豪雨による林業施設災害の復旧を行う。	25,245
【土木施設災害復旧費】	○土木施設災害復旧事業 6月下旬から7月中旬に発生した豪雨による土木施設災害の復旧を行う。	254,000
【社会教育施設災害復旧費】	○萩往還災害復旧事業 7月中旬に発生した豪雨による萩往還の災害復旧を行う。	2,900



田万川
地域

学校クリーン作戦



川上
地域

親子交流会



萩
地域

全国教員柔道大会 (国体リハーサル大会)



須佐
地域

のびのび教室そうめん流し



むつみ
地域

敬老祝賀会



旭
地域

水辺の教室



福栄
地域

道の駅まつり 太鼓体験

「準備、操作始め」指揮者の号令のもと選手は一斉に全力で走り出す。今年も萩市消防操法大会が開催されました。

私も、昨年に続き選手として参加しました。「機敏な行動・正確な操作・冷静な判断力」が必要とされます。昨年は、初めて選手として参加し、ミスは、初めて選手皆さんに迷惑をかけ最下位。今年は、気持ちに余裕もでき、選手の気持ちも一つになり見事優勝する事ができました。消防署の職員・消防団の指導員の指導のおかげです。大変感謝しております。

私ごとでは、各消防分団におかれましては、炎天下の中、仕事を終え夕方から練習を行い本当にお疲れ様でした。この操法大会を通じて感じたことは、大会前日、当日に火災が発生し、各関係分団が出勤しています。実践に役立つ大会と感じることができました。

いよいよ秋到来、暑すぎた夏も終わりに、日中はまだ暑いですが、朝晩に肌寒さを感じ、ふく風に爽やかさを感じるようになりました。ことわざに「柿が赤らむと医者者が青くなる」、サンマが出るおあまが引込む、いずれも旬のおいしいものを食べると健康になるという意味です。気候がよく、過ごしやすい季節です。「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」皆さん 秋を楽しみましょう。

松尾 義人

つれづれなるままに

猛暑日が続いた今夏、暦の立秋の日も何のその、際限なく続く暑さに毎日うんざりしながら、「彼岸」を待ちました。先人の「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉を半信半疑で待ちました。

その言葉は生きています。彼岸を境に急に涼しくなり、朝夕は肌寒さを感じます。

永い生活の知恵から言い伝えられている先人の言葉・習慣を信じ大切にしていきたいと改めて思いました。

「準備、操作始め」指揮者の号令のもと選手は一斉に全力で走り出す。今年も萩市消防操法大会が開催されました。

私も、昨年に続き選手として参加しました。「機敏な行動・正確な操作・冷静な判断力」が必要とされます。昨年は、初めて選手として参加し、ミスは、初めて選手皆さんに迷惑をかけ最下位。今年は、気持ちに余裕もでき、選手の気持ちも一つになり見事優勝する事ができました。消防署の職員・消防団の指導員の指導のおかげです。大変感謝しております。

編集後記

●表紙の説明
記録的な猛暑の続いた本夏、柑橘の成長も気になるところです。来年の収穫にむけ玉葱の苗床の灌水作業中のご夫婦です。

議会だより編集委員会

- 委員長 木村 靖枝
- 副委員長 広兼 義烈
- 委員 小林 正史
- 佐々木 武夫
- 関 伸久
- 長岡 肇太郎
- 西中 忍
- 松尾 義人